

「いたばし区議会だより」(第167号)(平成26年1月1日発行)
 「“検討”」と答弁された質問とその答弁内容

	「“検討”」と答弁された質問	その答弁内容	質問した議員(敬称略)	ページ	
1	延長930メートルの計画道路のうち、帝京大学前の御成橋から稲荷台の区間は双方向通行ができるよう、整備せよ。また、この区間以外の整備スケジュールは。	【区長】帝京大学前300メートルの区間は26年度に着工し、30年度末に双方向通行道路として完成予定。残りの区間は次期計画での位置付けを今後検討する。	田中しゅんすけ	6～7ページ	
2	りんりんちゃん3つのセットを「金りんちゃん」「銀りんちゃん」「銅りんちゃん」とネーミングし、区のPR、商店街活性化を図っては。	【区長】グッズによるPRを含め、ナショナルトレーニングセンターへの来訪者などを商店街に引き寄せる方策を商店街、地域住民と検討する。			
3	北区と協力し、初めての人も参加しやすいイベントを。	【区長】②北区との共催で、実行委員会による大会の運営を考えている。大会イベントでは、プロ選手による小学生のサッカー教室の実施なども検討している。	坂本あずまお		
4	区が所有する情報についての電子的提供に関する指針の整備を。	【区長】国のガイドライン、法整備の動きを注視し、指針の整備を検討していく。			
5	客観的なデータや情報を事前に準備、提供したうえで現実に即したアイデアを提案してもらう手法(アイデアソン)を用い、子どもたちの柔軟な発想を現実的な形にする未来創造アイデアコンテストの開催を。	【教育長】児童・生徒が自分のまちの未来を創造し、アイデアを考えることは大変意義のある試みである。先進自治体の取組みについて情報収集し、研究・検討していく。			
6	①まへの福祉作業所の屋上、空調・給排水設備について改善を。	【区長】①屋上防水劣化、空調・給排水老朽化については修繕などを検討する。	なんば英一		
7	②前野三丁目集会所は同作業所の施設に転用を。	【区長】②施設の整備計画の策定に取り組む中で検討を進める。			
8	③6年後の障がい者支援施設の利用者を推定すると定員が90名足りない。このため、26年に策定する第6期介護保険事業計画では、介護施設と障がい者施設の複合施設の取組みにチャレンジせよ。	【区長】③障がい者施設の併設を公募条件とすることが可能かどうか、今後具体的に検討を進める。			
9	①23区のひとつもパラリンピックに力を入れて普及啓発を。	【区長】①様々な観点から、パラリンピックに力を入れた普及啓発を検討する。	大田ひろし		
10	②障がい者スポーツに貢献した人を区のスポーツ大使に任命する検討を。	【区長】②スポーツ大使や、現在検討中の広報大使制度の中で、区にゆかりのあるパラリンピストも含めて、区の魅力・実力を情報発信してもらえる人に幅広く依頼していく。			
11	①区民が分かりやすいよう、空き家問題の総合相談窓口設置を。	【区長】①ごみ屋敷対策検討会において、窓口の設置について検討している。			
12	小規模事業者登録制度が活用されない理由を聴取して改善を。	【区長】小規模事業者登録制度が十分に活用されるよう、今後も検討を続ける。	熊倉ふみ子		
13	②土曜日の児童の居場所は	【区長】②土曜日授業の拡大や寺子屋事業の充実などの状況を勘案しつつ、引き続き検討課題とする。			
14	住宅を確保する際、保証人がいないことで入居を諦める人が少なくない。住宅の貸主などに対し、保証人がいない場合の解決策を提案する「(仮称)板橋区あんしん保証事業」の創設を。	【区長】保証人がいないために住宅探しに苦労があることは認識している。保証人などの確保は課題であり、居住支援協議会で検討する。	大田伸一		
15	新しいキッズ開始後も、小学生が児童館を利用できれば、導入時の運営事業者の負担を軽減し混乱を防げる。当面は、あいキッズと児童館を併存させ補完の継続を。	【教育長】児童館との連携は引き続き行っていくが、現在、今後の児童館のあり方が検討されており、その結果を踏まえて対応していく。	田中やすのり		
16	ピッコロスクエアの再開発をスムーズに進めるために、都用地などの買収を。	【区長】再開発における選択肢の一つとして検討する。	おなだか勝		
17	路線は要望の多い、有楽町線小竹向原駅から日大病院、東上線中板橋駅、豊島病院を経て板橋区役所、健康長寿医療センターから東上線大井町駅、日大病院を経て小竹向原駅という循環の実現を。	【区長】道路の幅員が不十分などの課題がある。小型車両を視野に入れた検討が必要。			
18	①子どもの居場所をつくり、子どもの権利を守るのが行政の役割。学校と家庭以外のセーフティネット機能を持つ第三の居場所をどこが果たすのか。	【区長】①小学校や教育相談所、子ども家庭支援センター、児童相談所などが役割を果たす。児童館に替わる新たな施設での特例的対応も検討。	五十嵐やす子		8ページ
19	児童館を小学生の居場所でなくす方針を転換し多世代交流の施設にしては。	【区長】世代間交流事業や地域ボランティアの受入れを充実し、地域と連携した子育て支援の拠点として位置付けていくことを検討。	井上温子		